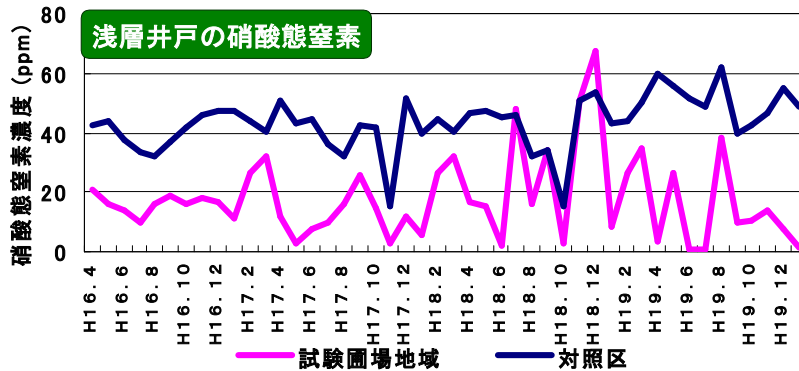


秋冬ネギ栽培地域における 環境に配慮した施肥改善技術

新たに開発したネギ専用の緩効性肥料を利用して、20%減肥栽培を現地ほ場(6ha規模)で実証しました。
実証地域では慣行施肥栽培に比べて、施肥回をは2/3に削減できました。
また、浅層地下水の硝酸態窒素は低く推移し、窒素の流亡が改善されました。



緩効性肥料を使用した20%減肥栽培によって、深さ3mの井戸では硝酸態窒素濃度が対照区に比べて低く推移しています。

実証地域における地下水の硝酸態窒素濃度

肥料成分の動態調査

肥料 N21.7kg
有機物 N5.1kg
収穫 N11.7kg
窒素負荷 15.1kg/10a/年

現地実証に使用して高い評価!

栽培実証

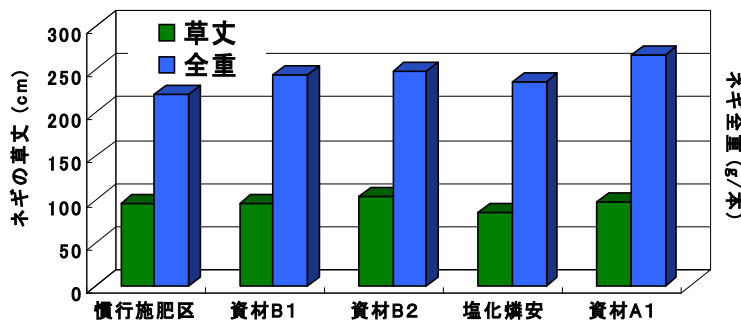
公開シンポジウムの開催

肥料会社と共同開発

「ネギ専用の緩効性肥料」を販売

当該地域における肥料成分の動態と環境に配慮した取組み事例

①肥料成分の動態 ②開発した緩効性肥料の普及・実証について検討しました。当該地域のネギ施肥量は、慣行(窒素成分で24kg/10a)に比べて、2割減肥が定着しています。



緩効性肥料(大苗用の資材A1、セル苗用の資材B1、全量基肥用の資材B2)の20%減肥栽培を実証しました。ネギ全重は慣行施肥区に比べて、約10%増加します。

ネギ専用の緩効性肥料が秋冬ネギの生育に及ぼす効果